

# やまがら

2020年  
新春号

No.37

松山市議会議員  
梶原ときよし



やまがら(山雀)

毎年、冬には自宅に来てくれます。

## 一人ひとりが大切にされる 人間尊重社会を実現しよう。

- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切に、子どもたちに安心未来を引き継ごう。



発行・梶原ときよし

### 安倍政権の国政

森友・加計・花見の会・カジノIR

#### 政治と税金を私物化する安倍自公政権

- 消費税を10%にした上で、更に75歳以上の高齢者医療費負担が2倍!!へ(22年から2割負担へ。)

### 野志市長の松山市政

- 渋滞しない踏切「渋滞解消」のためとしてJR高架橋500億円の無駄使い(松山市民の負担は100億円)
- 最初から見通しのない西条分水(既に10億円以上、人件費等で浪費)
- 東京在住者等による私的な会である松山愛郷会(30年で9,000万円。税金で飲み食いを含め今も継続)

#### 松山市民の税金を私物化配分する野志市政

- 低所得者の国保料金を、今年(2020年)4月から50%も引き上げる。

ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。1989年天下の悪税といわれる消費税が3%で始まって30年。とうとう消費税が10%になってしまいました。福祉目的と謳って庶民から吸い上げた血税をほとんど福祉には使わず、高額所得者への減税や法人税減税に転嫁させたために、大企業の内部留保は500兆円を突破しました。どこから見ても、赤ちゃんから高齢者まで、その能力に関係なく全ての国民から吸い上げた消費税を大企業や富裕層にばらまいていることは明らかです。

自公政権は、どこまで国民をバカにし続けるのでしょうか。政治の私物化を含め、目の前の腐った政治家の臭い、臭い！(くせい)臭いのする悪政(あーくせい)に対し、私達市民はもっと怒らなければならぬのではないのでしょうか。今議会の議案に、本市の約7万世帯・10万6千人が加入する国民健康保険の保険料を低所得者世帯のみ、大幅引き上げをするという議案が出てきました。(2面と4面に詳細)それだけでなく高すぎる松山市の国民健康保険料の低所得者負担を50%も引き上げるという前代未聞の議案です。(真に市民にとってはギャンブルです！)野志市長の思考回路が壊れたのではないかと疑わざるを得ないような今回の議案は撤回させるしかないと考えます。

2面へ

## 2019年12月議会 一般質問 梶原ときよし

2019年12月9日

自公政権は、どこまで国民をバカにし続けるのでしょうか。政治の私物化を含め、目の前の腐った政治家の臭い、臭い！(くせい)臭いのする悪政(あーくせい)に対し、私達市民はもっと怒らなければならぬのではないのでしょうか。今議会の議案に、本市の約7万世帯・10万6千人が加入する国民健康保険の保険料を低所得者世帯のみ、大幅引き上げをするという議案が出てきました。(2面と4面に詳細)それだけでなく高すぎる松山市の国民健康保険料の低所得者負担を50%も引き上げるという前代未聞の議案です。(真に市民にとってはギャンブルです！)野志市長の思考回路が壊れたのではないかと疑わざるを得ないような今回の議案は撤回させるしかないと考えます。

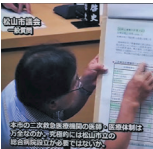
## 松山市定例市議会(年4回)に 10年間、39議会連続登壇を 続けています。

※2019年12月現在(連続登壇記録更新中)

2010年の松山市議会議員当選以来、全定例議会に質問あるいは討論を行ない、一問一答方式の導入をさせるなど、これまでのセレモニー化した議会に風穴を開け松山市政の監視を続けています。



「一問一答方式」の導入で緊張感のある議会に



パネルを使って分かりやすい質問



答弁する市長



子

# 松山市国民健康保険料の50%引き上げに反対！

ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。私は今議会に提案されている議案の一部に対し反対の討論を行います。反対する議案は、  
□ 議案第105号 (行政責任放棄議案) 道後保育園と中須賀保育園の民間運営委託  
義務教育と同様に本来行政が責任を持つべき幼児教育を、利潤追求の対象として民間企業に差し出すものともいえる。  
□ 議案第106号 (市民負担増加議案) 国民健康保険システム改修業務委託  
低所得者の保険料負担を50%も引き上げること、やってはならないシステム改修。  
□ 議案第120号 (税金の無駄遣い議案) 松山市事務分掌条例の一部改正について  
経費削減に逆行する、高額所得者の新しい部長を二人も増やし、市政私物化事業ともいえる。  
□ 議案第121号 (今回は見送るべき議案) 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び松山市公営企業管理者の給与等に関する条例の一部改正について  
□ 議案第122号 (マイナンバー強制議案) 松山市個人番号の利用等に関する条例の一部改正について  
一部改正について  
市民の望まない番号法を強制して行政の市民管理と税金の無駄遣いを日常化させる。  
□ 議案第131号 (今回は見送るべき議案) 市議会議員等報酬・期末手当及び費用弁償条例の一部改正について

□ 議案第123号 (経済的弱者いじめ議案) 松山市国民健康保険条例の一部改正について  
天下の庶民いじめである消費税の上をいき、本市市民の国民健康保険料を、何と50%も引き上げるといふ経済的弱者いじめでしかない鬼のような議案である。項目は以上ですが、  
私がどうしても許せないのが、野志市長が何の躊躇もなく、平気で出してきた、低所得者の国民健康保険料を、50%も大幅に引き上げるといふ議案です。本当に誰を見て、どこを見て政治を行っているのでしょうか。  
あつてはならないことですが、野志市長提案の国保料50%引き上げの対象者は、年間の所得が僅か33万円(一人世帯年収で約153万円)までの低所得層が対象で、本市の2万8,750世帯3万8,400人が50%もの負担増を強いられます。また二人世帯の年所得89万円(年収で約209万円から329万円程度)以下の1万1,600世帯2万1,000人は、応益割で25%引き上げとなり、合わせて約4万世帯6万人の市民がとてつもない打撃を受けることになります。  
2000年の中村市長時代に創設した低所得者に対する国保料金の10%補填という本市独自の保健福祉政策を、かなぐり捨てて、何らの知恵と工夫を示さずともなく国や県の言われるまま「国保制度を維持するためには仕方ありません」と平然と言っている野志市長の冷血さに、背筋が凍る思いがするのには私だけでしょうか。

市長の「二人でも多くの市民を笑顔に」という抽象的スローガンが示す通り、国保料で苦しむ市民は所謂「笑顔」の対象ではなさそうです。  
年収1000万円以上の部長に囲まれ、また新たな部長を増やし、理事者の機嫌を取りながら税金の無駄遣いを謳歌する野志市長の周りの人達には、笑顔の渦が絶えないことは、容易に想像できますが、今、市長がやるべきことは、消費も医療も身も心も削りながら苦しい生活に耐えている人をなくしていく努力。これこそが、あなたたち執行部に求められていることだと肝に銘じなければならぬと、私は思います。  
野志市長の口癖である「二人でも多くの市民を笑顔に」というスローガンが社会的経済的弱者の犠牲の上に成り立っているとするれば、明らかに本末転倒です。  
即刻、国保料引き上げの提案自体を撤回し、議案の撤回を求めますが、残念ながら結論から言って、市長と幹部職員にもぐれつく業者に配慮した、ひたすら自らの「坂の上の雲」ばかりを見つめる野志市長に辞めていただくほかに、本市市民が救われる方法は存在しないようです。  
ただ、その前に市政のチェック機関である議会こそが、二元代表制の一翼を発揮して市長の暴走を止めることは可能であるとも考えます。  
議員の皆さんの良心に期待して私、梶原時義の反対討論を終わります。

国保料引き上げに反対した議員は、梶原を含めて4人。  
残りの自民・公明・みらい会派等市政与党の賛成多数で可決。

## HPでは梶原の活動予定や 全定例議会での質問登壇が 動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。  
ご連絡ください。

ホームページ

梶原ときよし 公式ホームページ

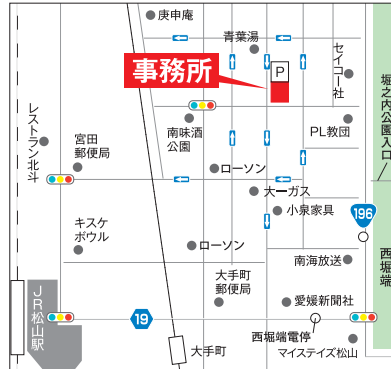
検索

## 梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2  
TEL 089-947-2258  
FAX 089-947-2259

携帯 080-5669-8586  
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

- 午後1時～午後5時まで(月～木)
- 金・土・日・祝日はお休みです。



お近くにお越しの際は、  
ぜひお立ち寄りください。





# 議会公質問

梶原ときよし

12月議会  
一般質問より抜粋

2019年  
12月9日



低所得者(約4万世帯・6万人)に追い打ちをかける  
国保料50%引き上げの条例案とシステム改修案は  
見直すべきではないか。

梶原議員

本市の国民健康保険を掛けている市民で、年所得33万円(年収ベースで約153万円)以下の2万8,750世帯(41・3%)、3万8,413人(36・1%)は50%引き上げ、二人世帯で年所得89万円(年収ベースで約209万円から329万円)以下程度の所得区分にある1万1,600世帯(16・7%)、2万1,012人(19・7%)は応益割が25%の引き上げとなる。

今議会の補正予算案にある低所得者に対する国保料金の10%補填の見直しは、2000年の中村市長時代に創設した本市独自の保健福祉政策を大幅に後退させ、年金削減と大增税に苦しむ経済的弱者に追い打ちをかけるものであり、絶対に許されない。

① 本年10月からの2%消費税増税で消費も気持ちも打ちひしがれているのに、50%もの国保料引き上げを平気で提案してくる野志市長の神経を疑わざるを得ないが、その見解を求める。

本市市民の人権をじゅうりんした、愛媛県警によるデッチアゲ不当逮捕事件は絶対に許されない。  
市民の人権を守る義務がある市長は愛媛県警に対し説明責任を果たさせるべく、行動をとるべきではないか。

梶原議員

愛媛県警の警察官により重大な人権侵害である不当デッチアゲ逮捕・拘留を受けたのは間違いないが本市市民である。野志市長には、本市市民の人権を守る義務があるにもかかわらず、人権侵害を犯した愛媛県警松山東署に対し「管理監督、調査権がない」として事実確認すら行おうとしないが、守るべき市民への人権侵害に対して抗議と真相究明、再発防止策ぐらいは求めるべきではないのか。

① 権限がなくても事件の事実確認と経過説明を要求することはできると考えるがどうか。  
② 市長が愛媛県警に抗議すらしようとしない理由を市民に説明せよ。

野志市長の答弁

① 県警は、県議会で調査結果を報告し、再発防止策を示し、信頼回復に努めると答えており、市として対応する必要はないと考えます。  
② 抗議する必要はないと考えます。

野志市長には、本市市民が県警から受けた人権侵害に対する怒りが全く無く、事実確認すら求めない人権意識の欠如は許されません。  
市民の人権を守る意識の無い市長は、即刻辞職するべきだと思います!!

また、市長は経済的弱者が現状でも本市の国保料金の重さに悲鳴を上げていることを知っているか。

保健福祉部長の答弁

国保は年齢構成が高く、医療水準が高いことや所得水準が低いことなどの構造的な課題は十分認識しており、今回の見直しについても重く受け止めています。都道府県単位化により財政運営の責任主体となった愛媛県が定めた運営方針のもと、国保財政の健全化を進める必要があります。提案内容を見直す考えはありません。

今回の国保料50%もの引き上げで、経済的弱者がどれほど厳しい生活を余儀なくされるか、市長は考えた事があるのでしょうか。

国から言われたから、県から言われたからではなく、市長は、市民の声を一番大切にしなければならぬのではないかと。

断固として撤回を求めます!!

梶原議員

本年9月議会で、市政二元代表制の一翼を担う松山市議会は全会一致で、今回の愛媛県警による本市市民への人権侵害を非難し、真相解明の説明責任と再発防止策を求めて意見書を可決したが、愛媛県警からは市議会に対し、いまだに何ら説明がない。市長は愛媛県警の市議会や本市市民に対する説明責任は十分に果たしたと思うのか。

また、市民は愛媛県警の説明に十分納得していると考えているのか。

市民部長の答弁

県警は、今回の事案について、組織のトップが県議会や記者会見の場で説明しており、説明責任を果たしたと思います。

さらに今回の定例会で、市民には国保料50%もの引き上げ負担を強いながらも、市長他特別職のボーナスを引き上げる議案が提出されました。

■議案第121号  
特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について  
■議案第131号  
市議会議員等報酬・期末手当及び費用弁償条例の一部改正について

すなわち、右記議案は、市長他特別職の期末手当(年末ボーナス)の引き上げ及び市議会議員の期末手当(年末ボーナス)の引き上げ議案です。詳細は左の表をご覧ください。

## 市長と議員の期末手当(年末ボーナス)引き上げ 期末手当改定シミュレーション

	報酬月額	加算率	期末手当基礎額	改定後期末手当支給率 (令和元年12月分)	改定後期末手当額 (令和元年12月分)
議 長	732,000円	20%	878,400円	1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,515,240円 43,920円増
				1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,353,780円 39,240円増
副議長	654,000円	20%	784,800円	1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,289,610円 37,380円増
				1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,120,000円 33,800円増
議 員	623,000円	20%	747,600円	1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,252,230円 37,380円増
				1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,080,930円 53,940円増
市 長	1,120,000円	20%	1,344,000円	1.675月→1.725月 (+0.05月)	2,251,200円 67,200円増
				1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,860,930円 53,940円増
副市長	899,000円	20%	1,078,800円	1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,860,930円 53,940円増
				1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,525,590円 44,220円増
教育長	737,000円	20%	884,400円	1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,525,590円 44,220円増
				1.675月→1.725月 (+0.05月)	1,442,220円増

※今回は、国保引き上げ議案と同時に、市長の期末手当(年末ボーナス)225万円を更に3%(67,200円)引き上げ、231万8千円にするという議案を出してきました。  
野志さんは、市長ボーナス225万円では足りないのでしょうか?!

終わりに

本当に残念ですが、私には、愛媛県警が松山市民の人権尊重と市議会、それと野志市政自体を軽視していると思えません。

野志市長の言う「二人でも多くの人を笑顔に」というスローガンが、罪のない一人の本市市民の犠牲の上に成り立っているとすれば、日本国憲法第11条にある「国民が生まれながらにして持つ、侵すことのできない永久の権利として現在から将来に与えられる基本的人権」が否定される社会の容認につながり、絶対に許されません。

また、今回の事件の何の証拠もない不当な拘束は、日本国憲法第13条にある「すべて国民は個人として尊重される。生命・自由及び幸福追求に対する国民の権利は公共の福祉に反しない限り国政上最大の尊重を必要とする」という条文、これに反しないのか? 明らかに反しているのではないのでしょうか。

野志市長には、その気がないかもしれませんが、本市市民の人権を守るために、体を張ってでも警察権力と闘ってもらいたいということをお伝えして、私の一般質問を終わります。有り難うございました。

## 庁内雑音のーコマ

国家公安委員長も中村知事も警察に抗議しているのに野志市長は、何で抗議せんのかな?

梶原議員

議員さん。できる訳ないでしょう。職員の不祥事があるたびに、野志さんは、もみ消してもらってるんですから!!

幹部職員

なるほど……。真に、もみ消し隠蔽・私物化市政ですネ。

梶原議員



愛媛県警松山東署による誤認逮捕

## ① 松山東署が誤認逮捕

「思い込み」ずさん捜査  
松山東署が誤認逮捕したとされているのは、松山市議会議員の一人、梶原議員です。この事件は、松山市議会議員の一人、梶原議員が、松山東署の警察官から誤認逮捕されたというものです。この事件は、松山市議会議員の一人、梶原議員が、松山東署の警察官から誤認逮捕されたというものです。この事件は、松山市議会議員の一人、梶原議員が、松山東署の警察官から誤認逮捕されたというものです。



県議会文芸文書委員会が誤認逮捕を謝罪する当時の松下警察本部長(中央)ら＝8月6日、議事室

- 2019年えひめ十六ニュース
- 1 松山東署が誤認逮捕
  - 2 参院選で永江氏当選
  - 3 アコヤガイ大量死
  - 4 道後温泉本館 保存修理開始
  - 5 分水構想実質中止
  - 6 サッカー ダブル昇格果たす
  - 7 伊方原発21年停止も
  - 8 12月16日付 愛媛新聞
  - 9 しまなみ海道開通20年